

**次期愛知県観光振興基本計画（仮称）検討委員会  
第1回全体会合 議事録（概要）**

**■日 時**

2023年5月10日（水）10：00～12：00

**■場 所**

愛知県庁本庁舎6階 正庁  
Zoom \*ハイブリッド形式により開催

**■出席者**

**●委員（敬称略）**

◎…委員長      ○…副委員長

所属・職	氏 名	形式
株式会社カーネル総研 取締役 コンテンツ・プロデューサー 中部圏インバウンドセールスプロジェクト 事務局長	あかさき まきこ 赤崎 真紀子	対面
日本政府観光局（JNTO） MICE プロモーション部次長	いたがき あやこ 板垣 彩子	オンライン
国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院 情報学研究科 准教授	うらた まゆ 浦田 真由	対面
株式会社行楽ジャパン 代表取締役社長	えん せい 袁 静	オンライン
国立大学法人和歌山大学 経済学部 教授	おおさわ たけし ◎大澤 健	対面
株式会社リクルート じゃらんリサーチセンター長	さわのぼり つぐひこ 沢 登 次彦	オンライン
日本薬科大学 特別招聘教授 内閣府クールジャパンプロデューサー	じんない ひろき 陳内 裕樹	オンライン
名城大学 名誉教授	ふたがみ まみ 二神 真美	対面
東海学園大学ともいき教養教育機構・経営学部 客員教授	よこやま ようじ ○横山 陽二	対面

\*欠席：有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役 クリス・グレン

●オブザーバー（敬称略）

所属・職	氏名	形式
公益社団法人日本観光振興協会 中部支部 事務局長	にしむら てつじ 西村 哲治	対面
一般社団法人中央日本総合観光機構 常務理事・事務局長	おぎの みつたか 荻野 光貴	対面
一般社団法人愛知県観光協会 専務理事	さかきばら ひとし 榊原 仁	対面

●事務局（愛知県観光コンベンション局）

所属・職	氏名
顧問	たけだ みつひろ 武田 光弘
局長	あちわ さとし 阿知波 智司
観光推進監	あさだ じんさく 浅田 甚作
観光振興課 課長	おおみ たかあき 大参 孝彰
国際観光コンベンション課 課長	ただ かおり 多田 花緒里
国際観光コンベンション課 担当課長	あんどう よしお 安藤 嘉雄
国際観光コンベンション課 国際展示場室 室長	すずき たろう 鈴木 太郎
国際観光コンベンション課 国際展示場室 担当課長	うえだ しげる 上田 茂

観光コンベンション局各課長補佐・室長補佐同席

## ■主な内容

### 1: 目的

- まずは、愛知県がなぜ観光に取り組むのかを明確にする必要がある
- 現時点の骨子案では、計画の目的が不明瞭

### 2: ゴールイメージ

- ゴールイメージをつくるのが計画策定の第一歩となる
- 皆が共感できるゴールイメージを持つことが必要

### 3: 持続可能な観光

- 「持続可能な観光」は国の計画でも重要視されており、高付加価値化の要素として愛知県も取り組むべき方向性
- 持続可能な観光は全ての観光施策のベースとなるもの
- MICE 分野でも持続可能性を考慮した取組が求められている
- サステナビリティの取り組みを強化し、対外的な情報発信も必要
- 環境配慮や CO2 削減を重視した具体的な指標（KPI）の設定が必要
- 自然環境だけでなく、文化・経済面での持続可能性も重要
- サステイナブルツーリズムをセールスしていくのであれば、アジアマーケットが良い

### 4: デジタルとイノベーション

- 新型コロナウイルスの影響で DX が進み、イノベーションの重要性が高まっている
- 次期計画の姿勢としてデジタルとイノベーションを打ち出したのは、的を射ている
- デジタルとイノベーションは目的ではないので、計画の根底に取り入れることが重要
- 地元の大学や企業と連携してイノベーションの創出を促進
- 日本のデジタルの遅れを払拭する取り組みが必要
- イノベーションの創出は、異分野の結合によって新産業を創出し、観光と農業、漁業、森などの結びつきに注力することが重要

### 5: あいちツーリズムのバージョンアップ

- あいちツーリズムのコンセプトはこのまま進めていってほしい
- バージョンアップという表現が適切かは疑問。コロナ禍を経て旅行者マインドが変革したので、時流を捉えた表現とするべき
- 「ツウ」を測る指標が必要

### 6: 連携と役割

- 誰がどう進めていくかを記載すること
- 庁内の連携、市町村との連携を明確化するとともに連携方法を記載